

## 2013年の中小企業の景況見通し

～「中小企業景況調査」（2012年11月）の付帯調査結果～

- 2013年の中小企業の業況判断DI（前年比）は▲7.1と、2012年に比べて3.0ポイント低下する見通し。需要分野別にみると、6分野中5分野が低下の見通しで、特に乗用車関連の低下幅が大きい。
- 経営上の不安要素として、「国内の消費低迷・販売不振」「海外経済の減速による輸出減少」などの割合が上昇している。
- 2013年に注力する分野として、「新製商品・サービスの開発、新規事業の立ち上げ」「自社ブランドの育成・強化」などの割合が上昇している。

調査の要領	調査時点	2012年11月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社（首都圏456社、中京圏139社、近畿圏305社）
	有効回答企業数	597社
	回答率	66.3%

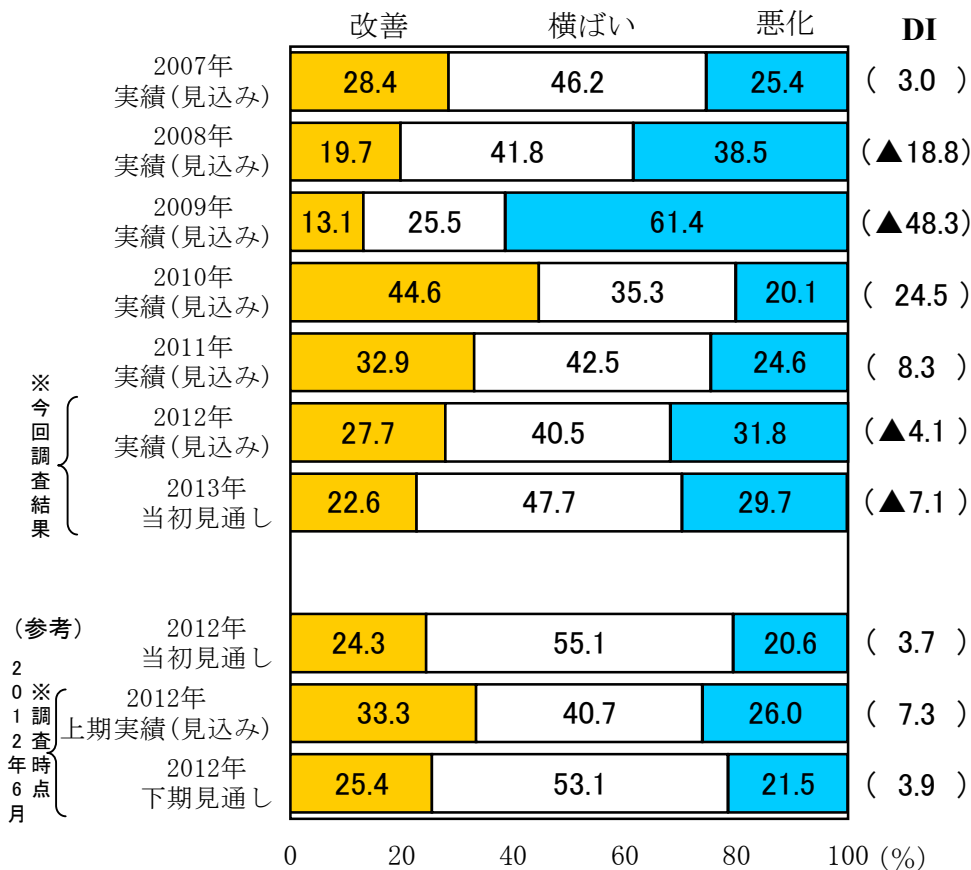
<お問い合わせ先>

東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー  
株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ  
(担当：桑本、武士俣) TEL：03(3270)1704

# 1 業況判断の見通し

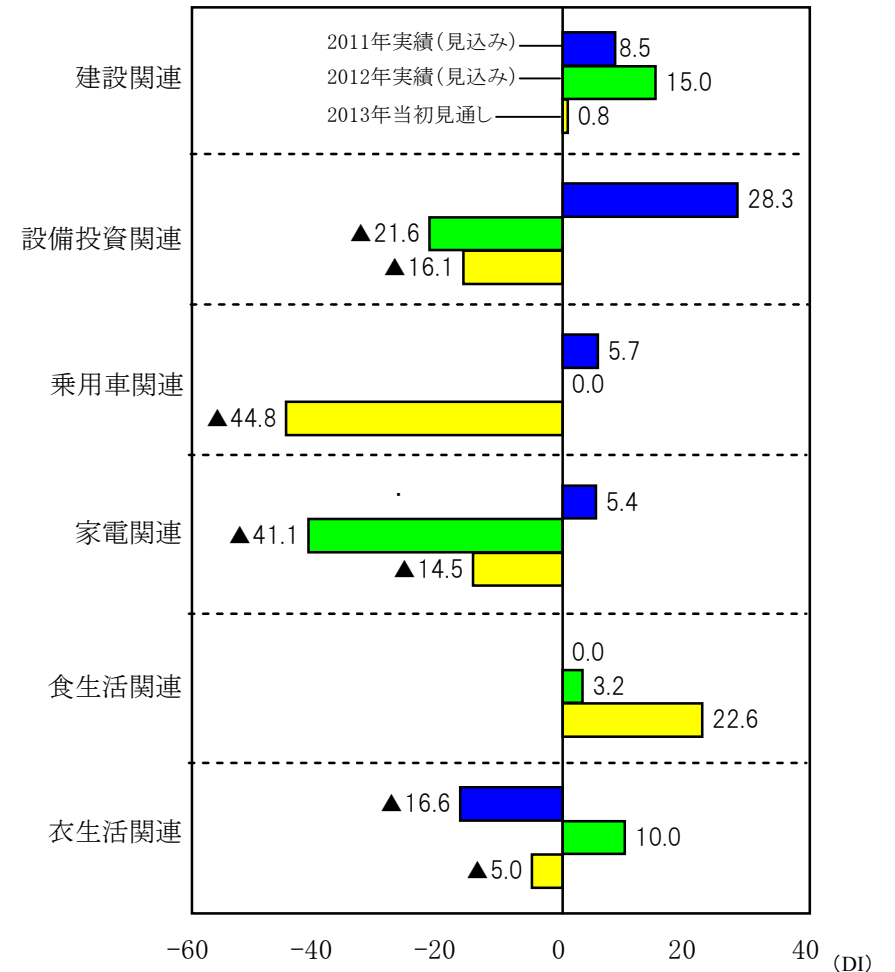
- 2012年の業況判断DI（実績・見込み）は▲4.1と、2011年実績（見込み）から12.4ポイント低下。
- 2013年の業況判断DI（当初見通し）は▲7.1と、2012年実績（見込み）から3.0ポイント低下する見通し。
- 2013年の業況判断DIを需要分野別にみると、6分野中5分野が低下の見通しで、特に乗用車関連の低下幅が大きい。

図－1 業況判断（前年比）



(注) 1 業況判断DIは前年比で「改善」－「悪化」企業割合。  
2 2012年当初見通しは、2011年11月調査時点の結果（以下同じ）。

<参考> 需要分野別の業況判断DI

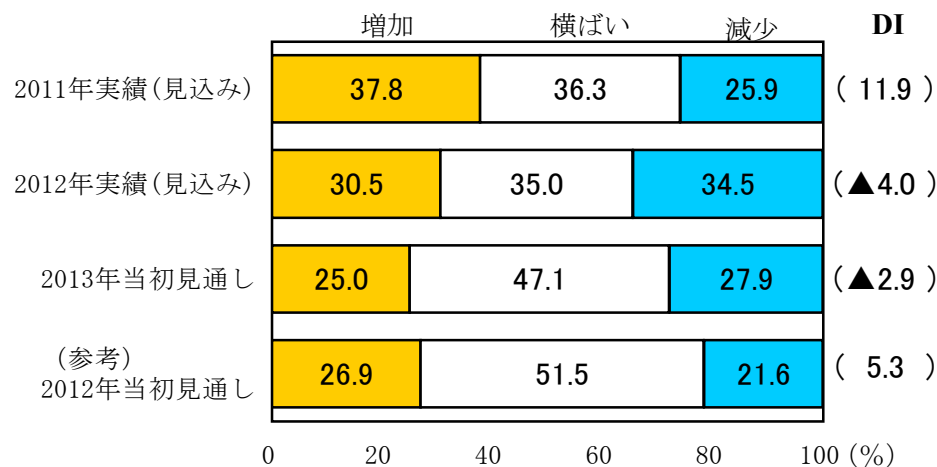


(注) 各企業が取り扱う製品のうち、最もウエイトの大きいものの最終需要先別に集計（以下同じ）。

## 2 売上高・収益の見通し

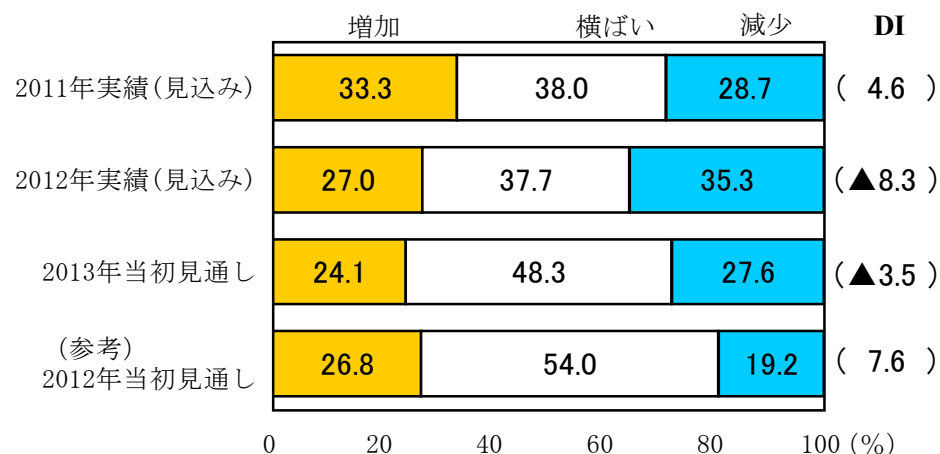
- 2013年の売上高DIは▲2.9と、2012年実績（見込み）から1.1ポイント上昇する見通し。
- 2013年の経常利益額DIは▲3.5と、2012年実績（見込み）から4.8ポイント上昇する見通し。

図－2 売上高（前年比）



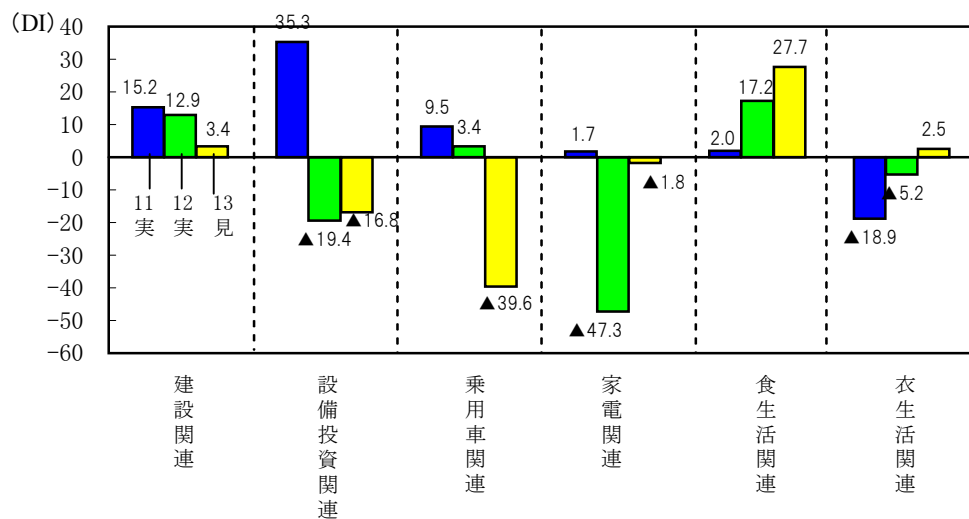
(注) 売上高DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合。

図－3 経常利益額（前年比）

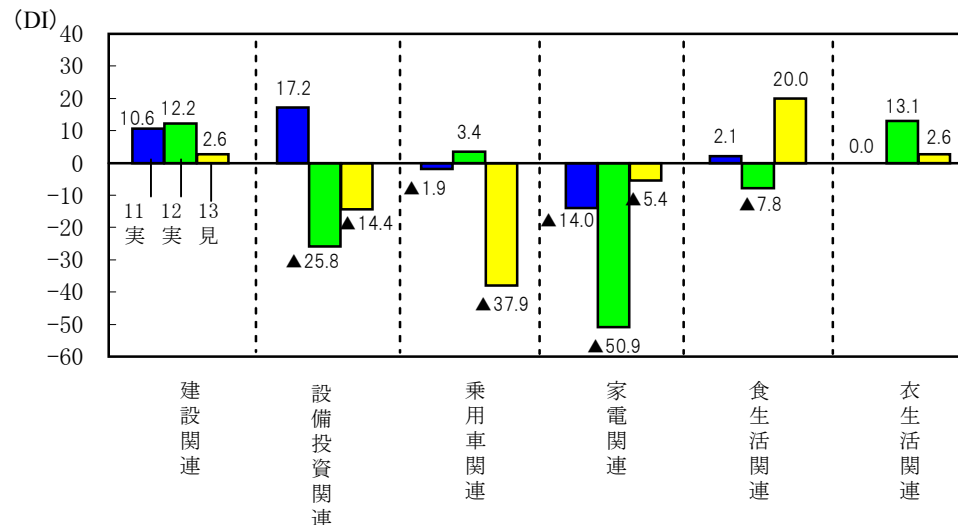


(注) 経常利益額DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合。

<参考> 需要分野別の売上高DI



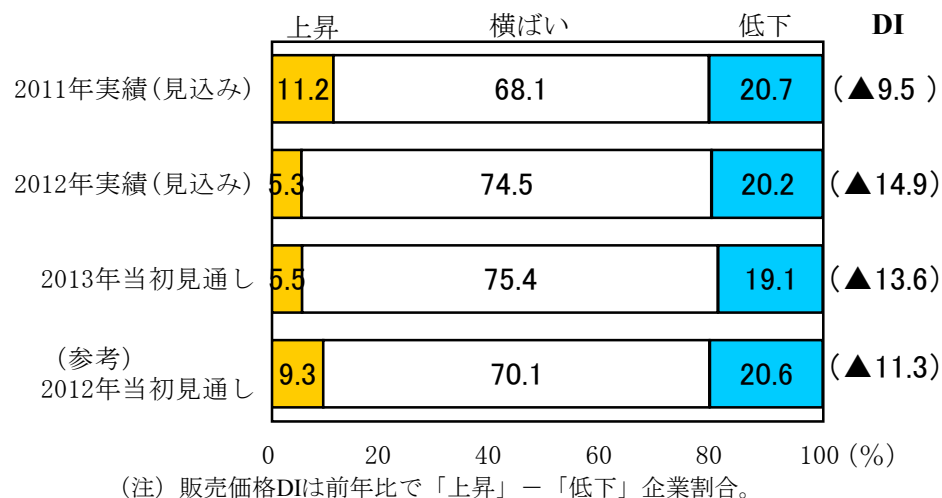
<参考> 需要分野別の経常利益額DI



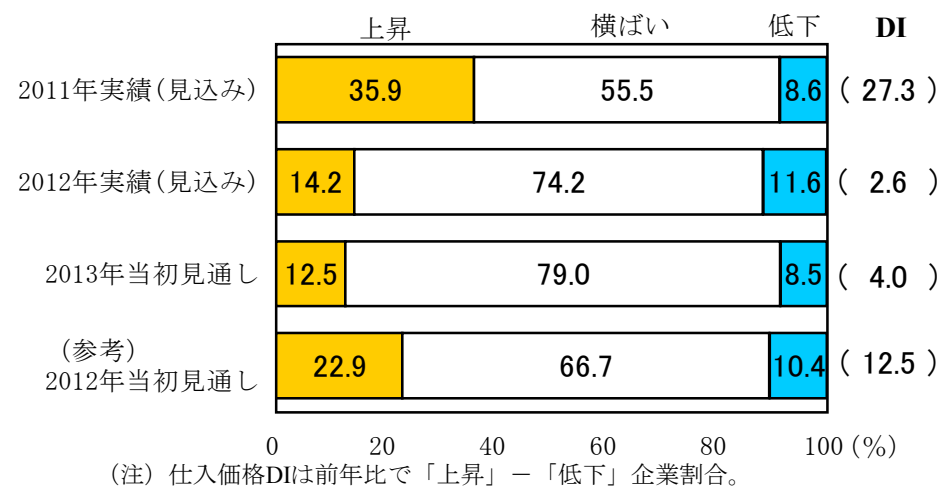
### 3 価格の見通し

- 2013年の販売価格DIは▲13.6と、2012年実績（見込み）から1.3ポイント上昇する見通し。
- 2013年の仕入価格DIは4.0と、2012年実績（見込み）から1.4ポイント上昇する見通し。

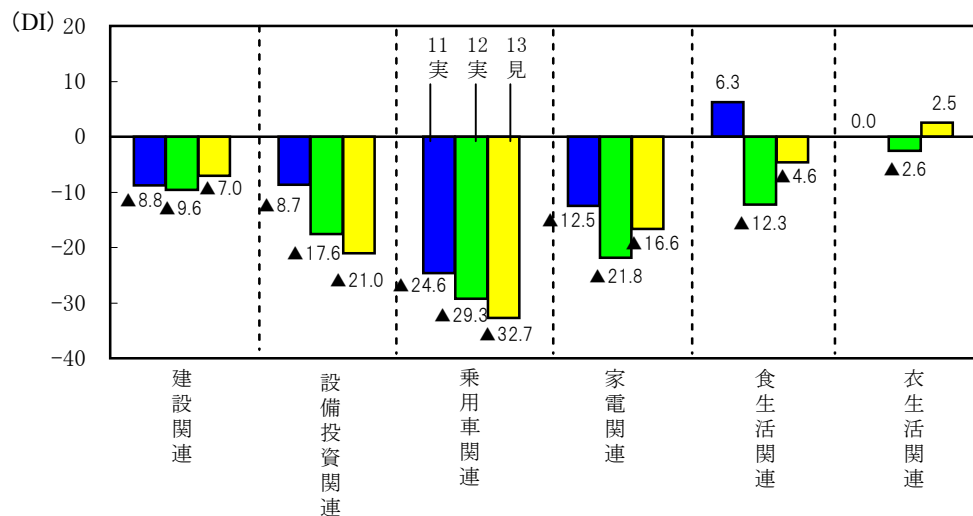
図－4 販売価格（前年比）



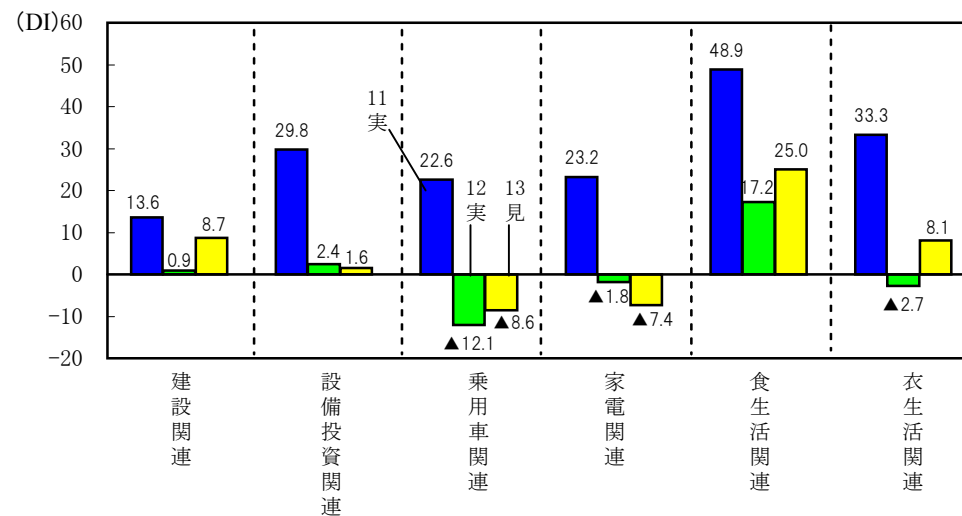
図－5 仕入価格（前年比）



<参考> 需要分野別の販売価格DI



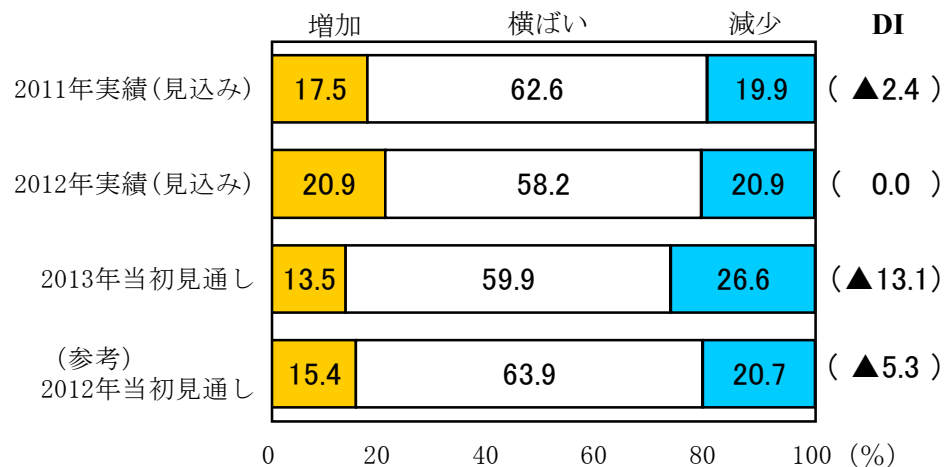
<参考> 需要分野別の仕入価格DI



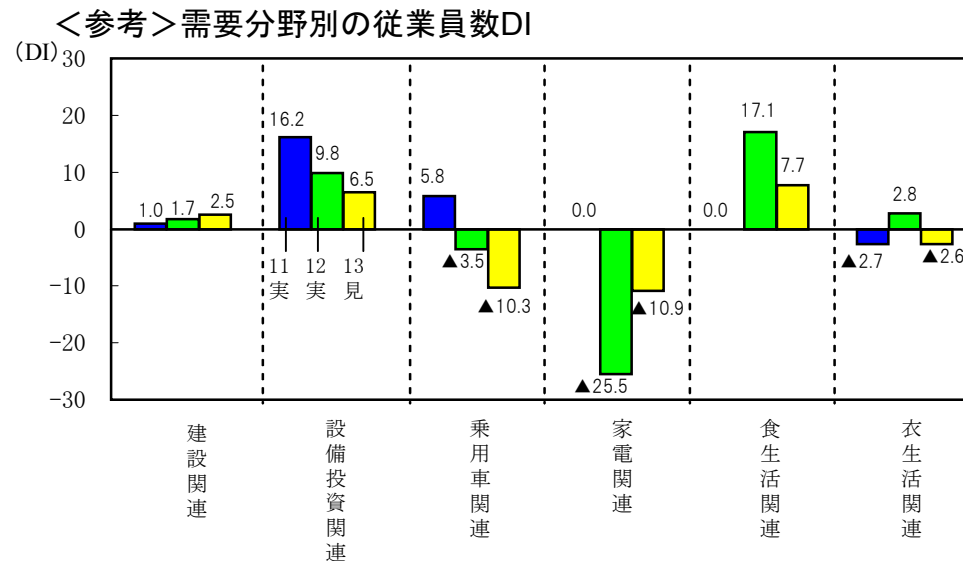
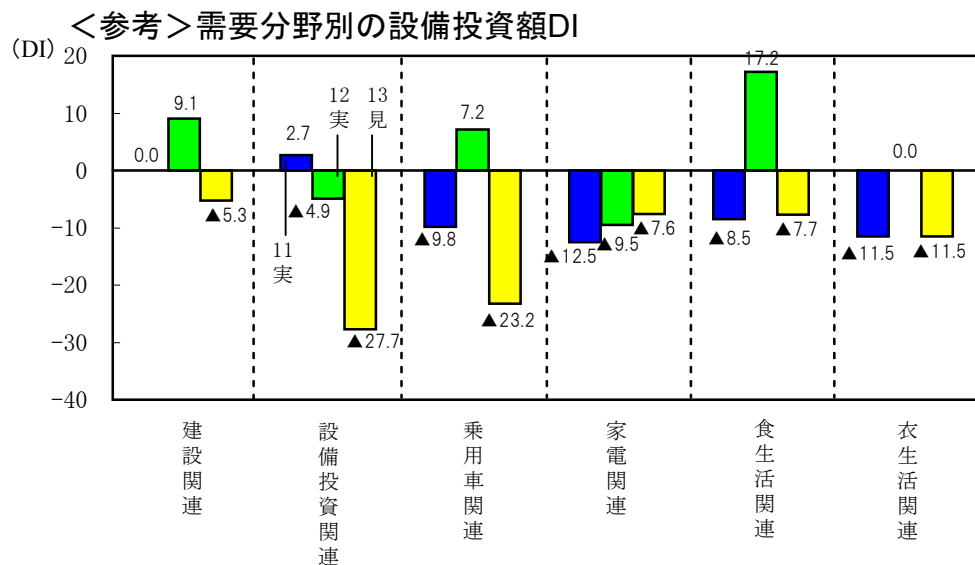
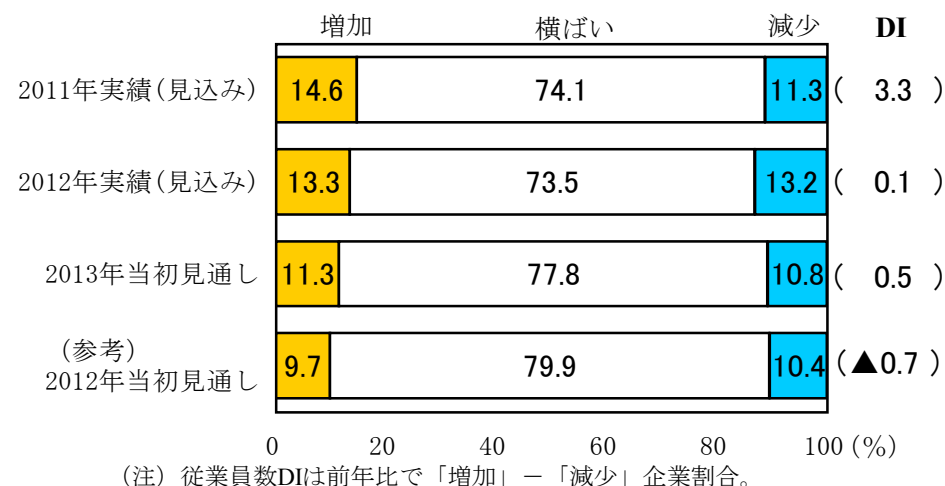
## 4 設備投資・雇用の見通し

- 2013年の設備投資額DIは▲13.1と、2012年実績（見込み）から13.1ポイント低下する見通し。
- 2013年の従業員数DIは0.5と、2012年実績（見込み）から0.4ポイント上昇する見通し。

図－6 設備投資額（前年比）



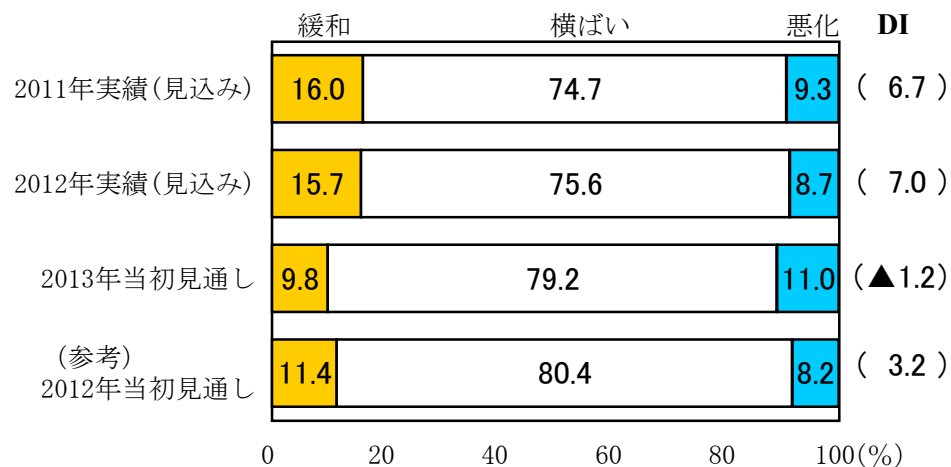
図－7 従業員数（前年比）



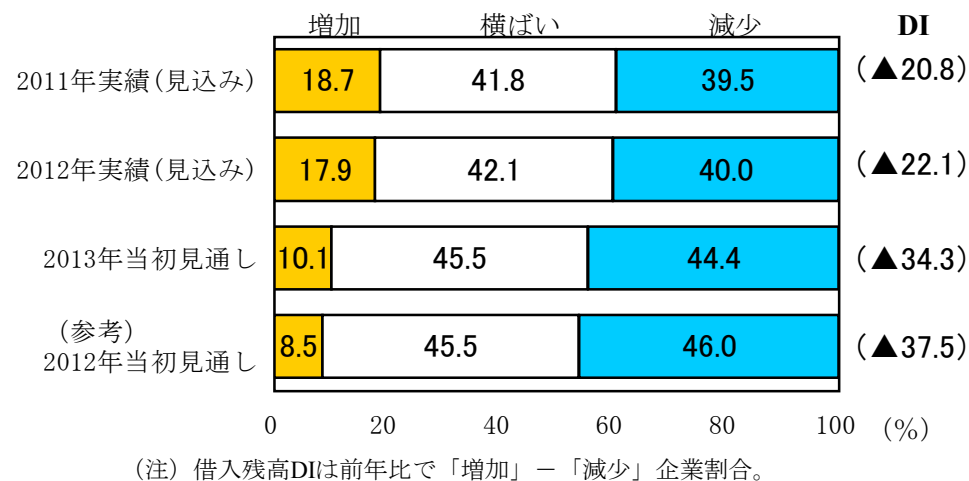
## 5 金融の見通し

- 2013年の資金繰りDI、貸出態度DI、借入残高DIは、2012年実績（見込み）より低下する見通し。
- 2013年の借入金利DIは、2012年実績（見込み）より上昇する見通し。

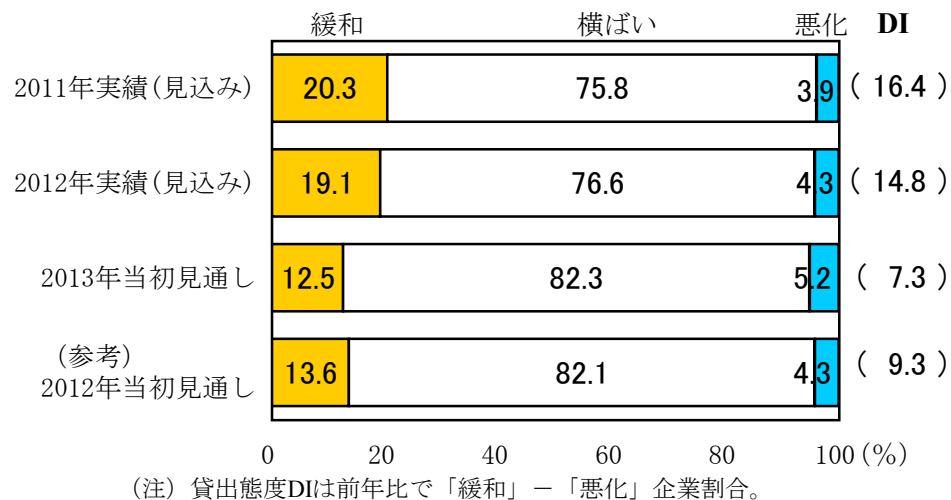
図－8－1 資金繰り（前年比）



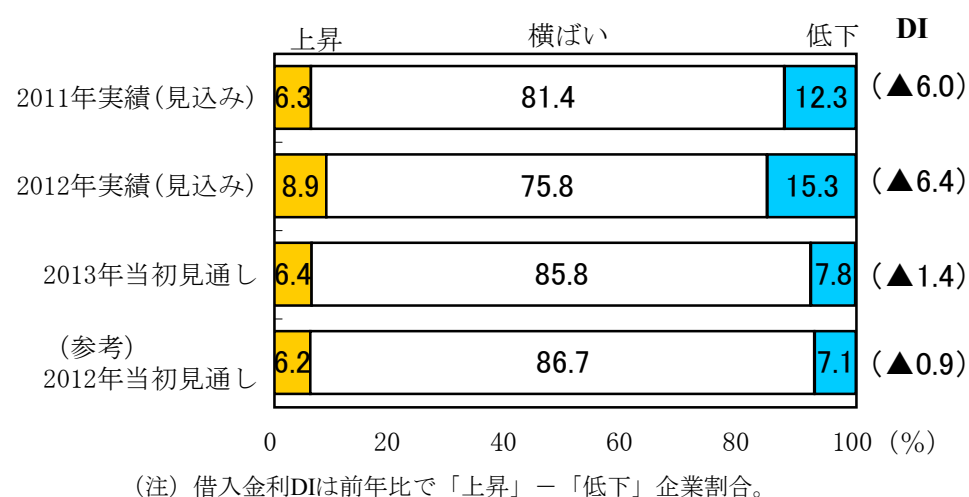
図－8－3 金融機関からの借入残高（前年比）



図－8－2 メイン金融機関の貸出態度（前年比）



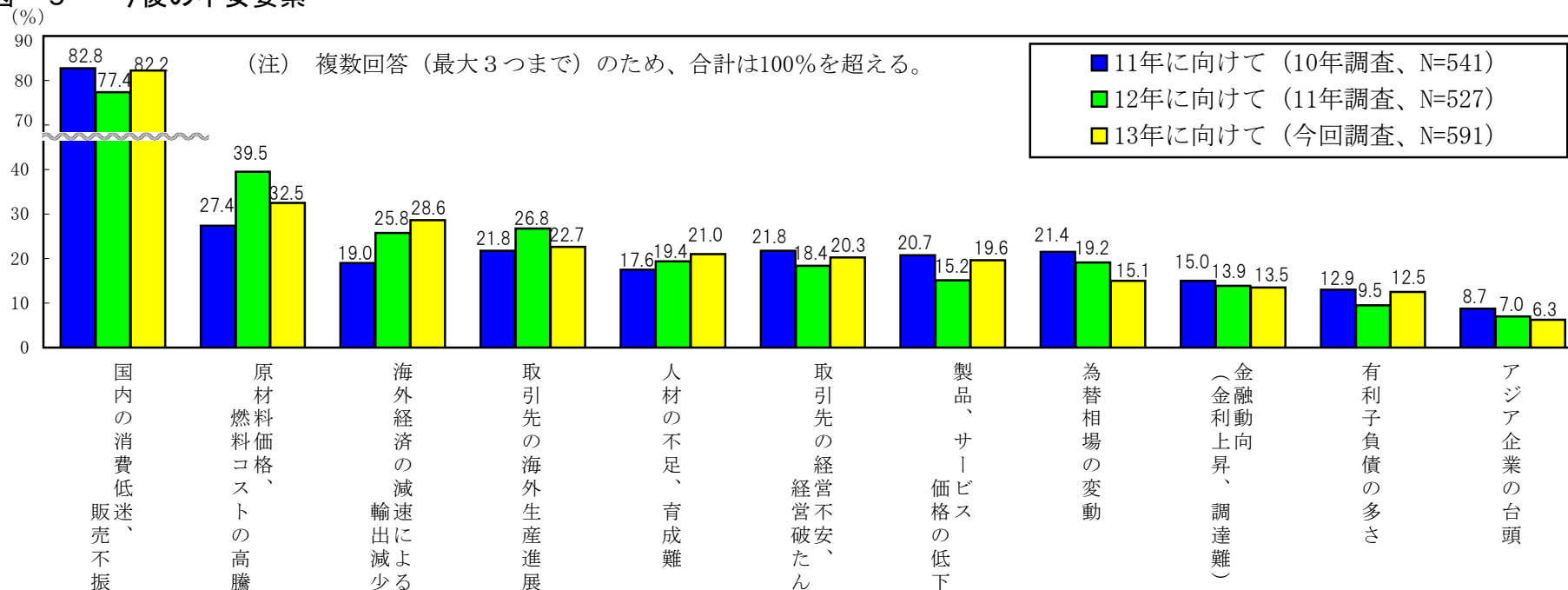
図－8－4 借入金利（前年比）



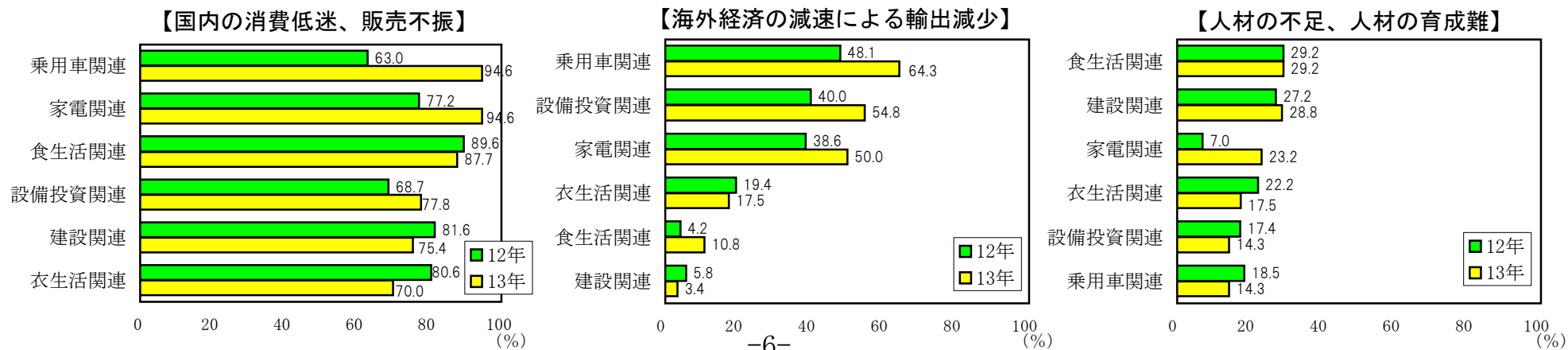
## 6 経営上の不安要素

- 2013年に向けての不安要素は、「国内の消費低迷・販売不振」が82.2%と上昇し、これまで同様最も高い割合を占めている。
- 「海外経済の減速による輸出減少」の割合が増加している一方、「原材料価格、燃料コストの高騰」などの割合は、前年調査に比べ低下している。

図-9 今後の不安要素



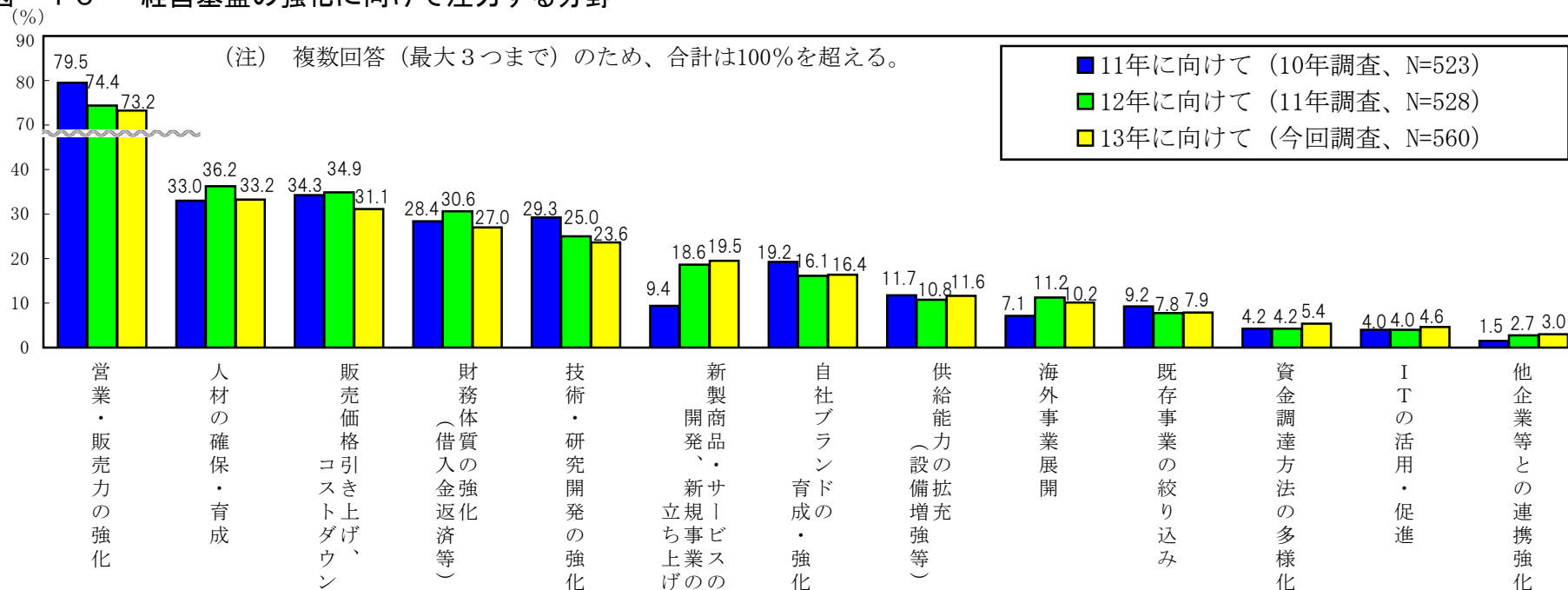
<参考> 需要分野別 (割合の高い分野順)



## 7 経営基盤の強化に向けて注力する分野

- 2013年に注力する分野は、「営業・販売力の強化」が低下しているものの、これまで同様最も高い割合を占めている。
- 「新製商品・サービスの開発、新規事業の立ち上げ」「自社ブランドの育成・強化」などの割合が、前年調査に比べ上昇している。

図-10 経営基盤の強化に向けて注力する分野



<参考> 需要分野別 (割合の高い分野順)

